

# Q&A (官公庁編)

EX-TREND官公庁の建設CADでのよくある質問を  
Q&A形式で解説しています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。



# よくある質問Q&A

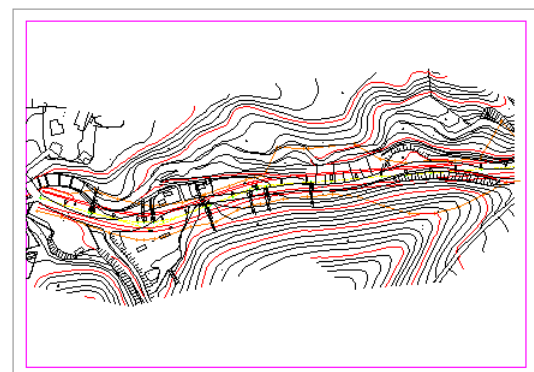
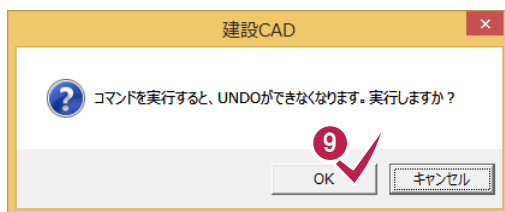
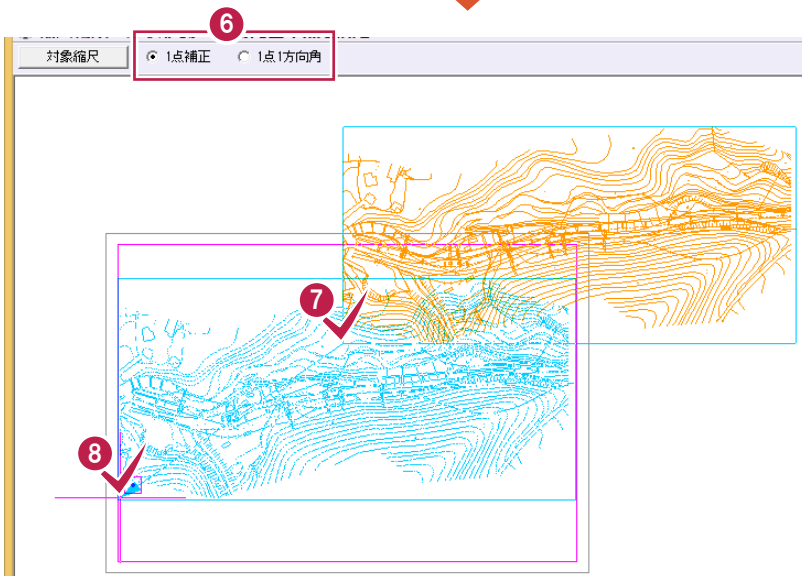
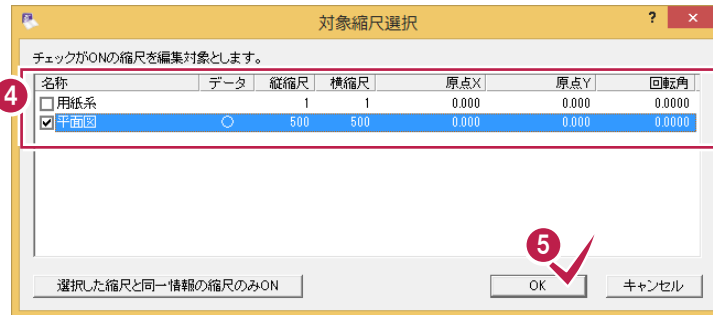
Q1	用紙からずれて配置されてしまった・・・	P1
Q2	取り込み後に縮尺を変更したい。	P2
Q3	複数配置されている図面のひとつを配置したい。	P3
Q4	図枠が作図されているので用紙に合わせて配置したい。	P4
Q5	用紙外の不要なデータを取り込みたくない。	P5
Q6	取り込んだ後に倍率を指定して、寸法を合わせたい。	P6
Q7	図面を読み込んだら、小さくなってしまった・・・ これって縮尺いくつなの？	P7
Q8	座標系を持っている DXF・DWG データを取り込むには・・・	P8
Q9	DXF データを連続して自動配置するには・・・	P9
Q10	外部ファイル読み込み時に、CAD製図基準テンプレートを設定する場合は・・・	P10
Q11	取り込み対象ファイルを選択するには・・・	P11
Q12	コマンドバーを非表示にしたい。	P12
Q13	インプットバーの位置を変更したい。	P13
Q14	データを選択するとグループ選択されてしまう。	P14
Q15	属性を指定してデータを選択したい。(AutoCADのプロパティ選択)	P15
Q16	画面表示と印刷の色を設定するには？	P16
Q17	キーボードや画面ボタンをカスタマイズしたい。	P17
Q18	文字や線を入力しようと配置したい場所をクリックしてもはじかれてしまう・・・	P19
Q19	線を引いている途中で間違った位置をクリックしてしまいました。最初からやり直しですか？	P19
Q20	DXDY で XY が逆になってしまうのですが・・・	P19
Q21	45度の線を入力したいのですが・・・	P20
Q22	円弧(線)上に10mピッチで点を落としたい。	P20
Q23	間違えて編集しないようにデータを保護したい。	P21
Q24	文字以外のデータが編集できません。	P22
Q25	別の建設CAD(.mss)ファイルの図面を取り込みたい。	P23
Q26	新しいページに別ページの図面を複写したい。	P25
Q27	入力後に寸法線の計測箇所を変更したい。	P26

## Q1

## 用紙からずれて配置されてしまった・・・

## A

移動コマンドを使うと座標系がずれてしまいます。  
座標系を保持したまま移動する方法をご説明します。



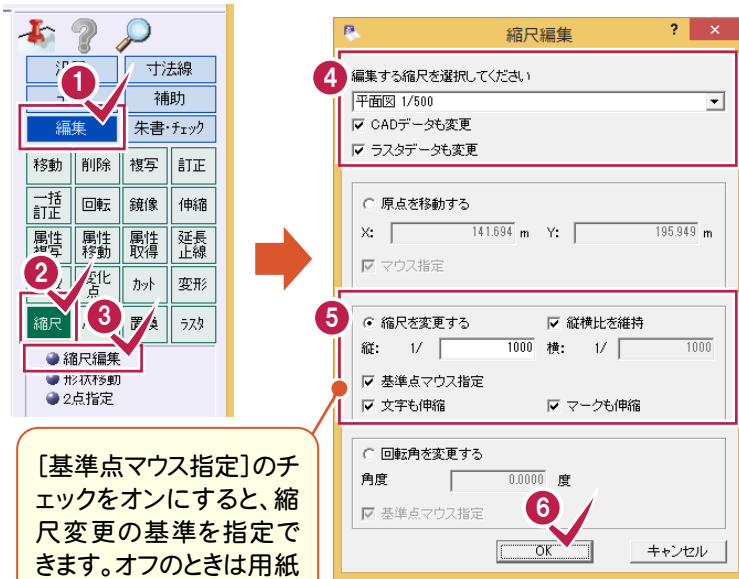
- 1 [編集]をクリックします。
- 2 [縮尺]をクリックします。
- 3 [形状移動]をクリックします。
- 4 移動するデータがある縮尺のチェックをオンにします。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 補正方法を選択します。
- 7 8 移動元、移動先を指定します。
- 9 [OK]をクリックします。

# Q2

## 取り込み後に縮尺を変更したい。

### A

[編集]-[縮尺]-[縮尺編集]コマンドを使えば簡単にできます。



[基準点マウス指定]のチェックをオンにすると、縮尺変更の基準を指定できます。オフのときは用紙左下を基準とします。

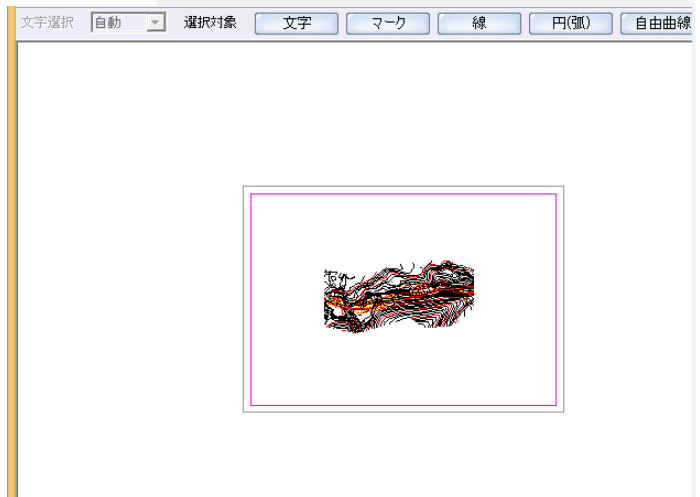
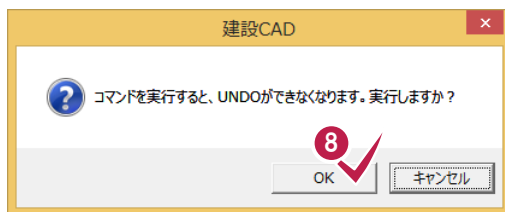
- 1 [編集]をクリックします。
- 2 [縮尺]をクリックします。
- 3 [縮尺編集]をクリックします。
- 4 編集する縮尺を選択します。
- 5 [縮尺を変更する]を選択し、変更後の縮尺を入力します。
- 6 [OK]をクリックします。



- 7 基準点をクリックします。

用紙枠が表示されますので、用紙を図面に合わせる感覚でマウスカーソルを合わせます。

- 8 [OK]をクリックします。

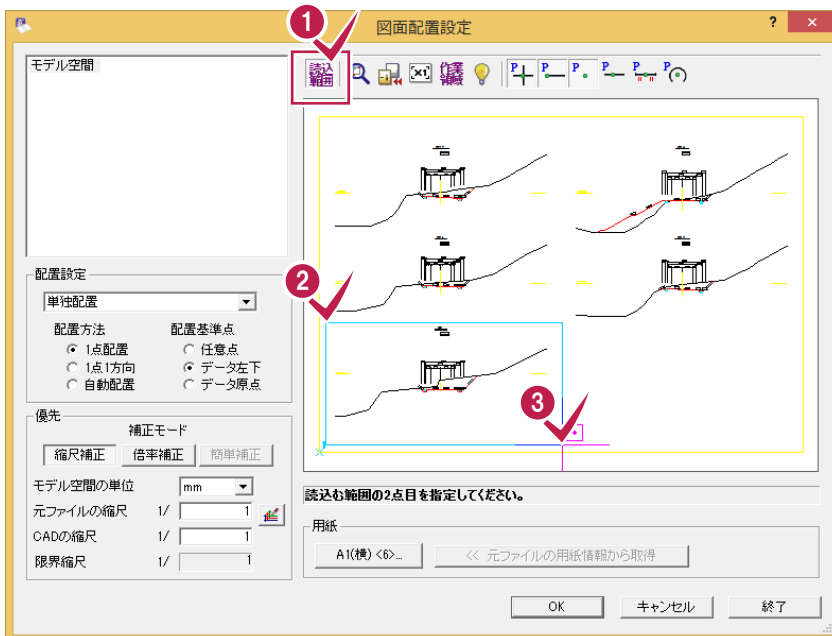


## Q3

## 複数配置されている図面のひとつを配置したい。

## A

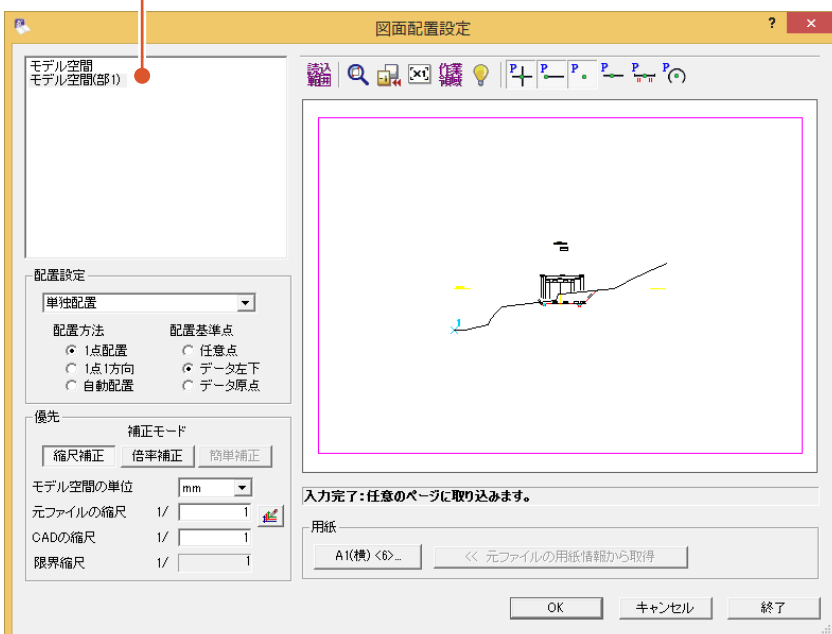
[ファイル]－[外部ファイルを開く]コマンドで、DXF/DWG/JWC/JWWの図面を取り込むときに表示される[図面配置設定]ダイアログの[読込範囲]ボタンで、読み込みたい必要部分だけを囲みます。



1 [読込範囲]をクリックします。

2 3  
読み込む範囲を指定します。

[モデル空間(部)]が追加され指定した範囲で図面が作成されます。  
[モデル空間]をクリックすると、画面が切り替わるので、読み込みたい範囲を指定し直すこともできます。



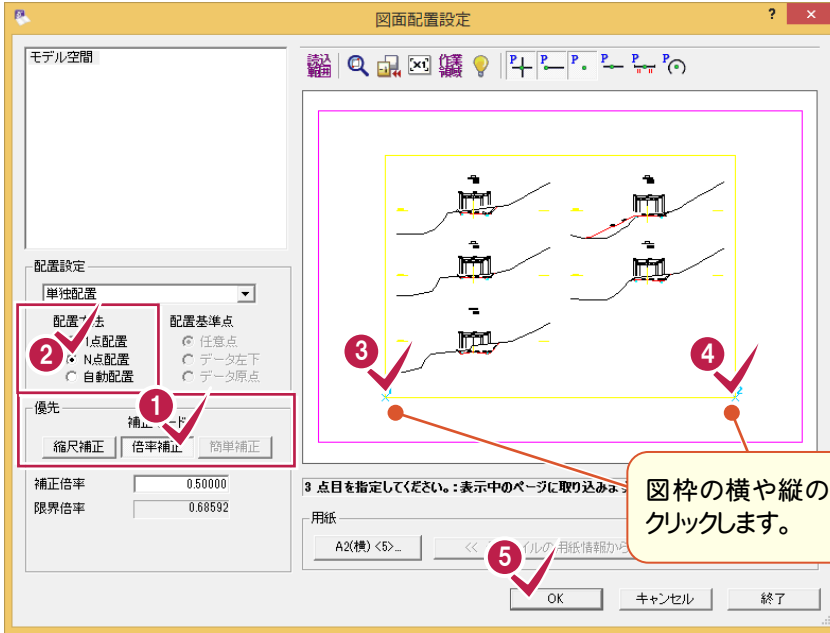
# Q4

図枠が作図されているので用紙に合わせて配置したい。

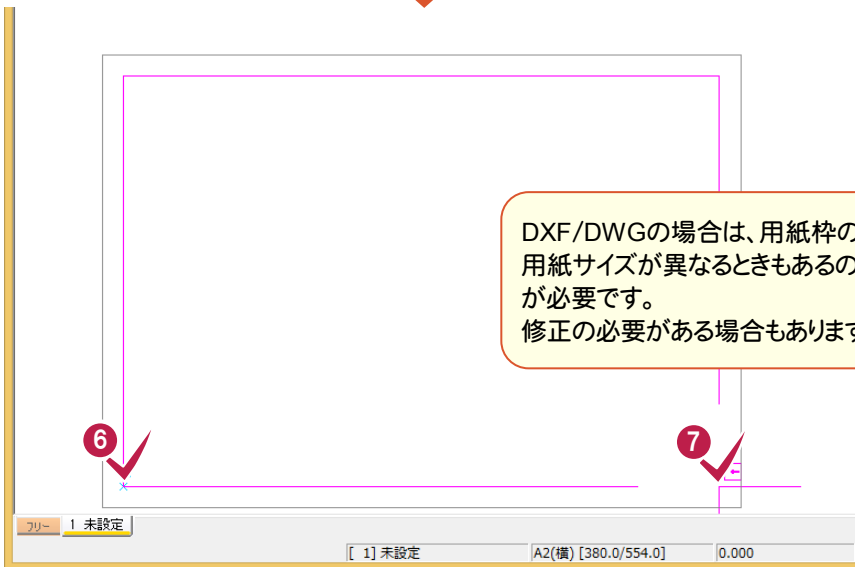
## A

[ファイル]ー[外部ファイルを開く]コマンドで、DXF/DWG/JWC/JWWの図面を取り込むときに表示される[図面配置設定]ダイアログで[N点配置]を選択します。

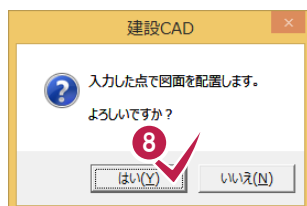
[N点配置]とは相対する複数(N)の点を指定して補正配置する方法です。



- 1 [比率補正]をクリックします。
- 2 [N点配置]をクリックします。
- 3 4  
図面上の2点をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。



- 6 7  
用紙のコーナーをクリックします。



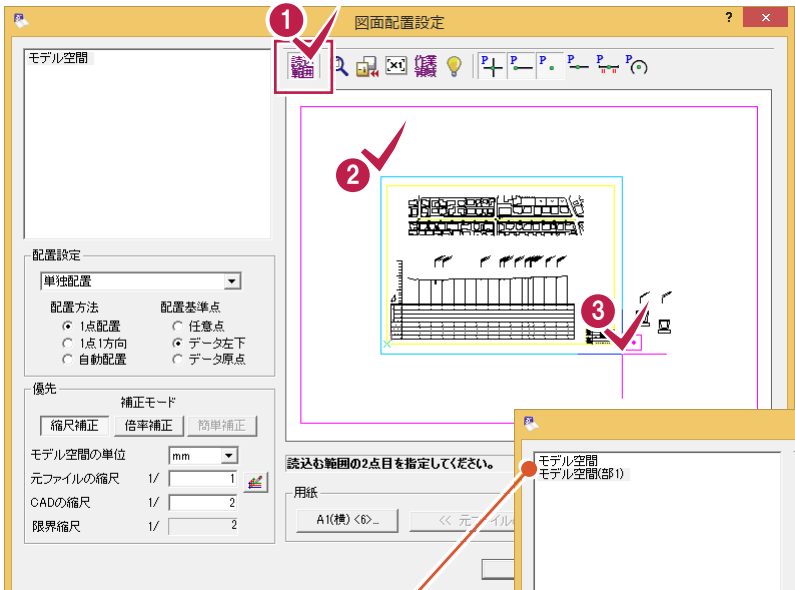
- 8 [はい]をクリックします。

## Q5

## 用紙外の不要なデータを取り込みたくない。

## A

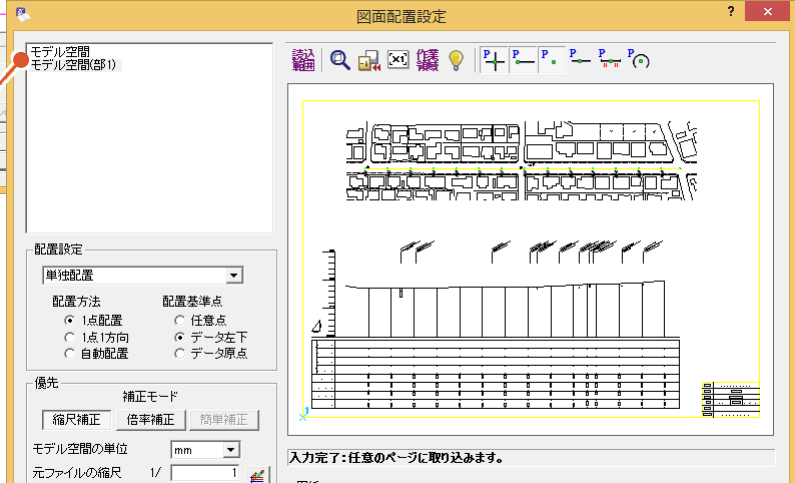
[ファイル]－[外部ファイルを開く]コマンドで、DXF/DWG/JWC/JWWの図面を取り込むときに表示される[図面配置設定]ダイアログの[読込範囲]ボタンで、読み込みたい必要部分だけを囲みます。



1 [読込範囲]をクリックします。

2 3  
読み込む範囲を指定します。

[モデル空間(部)]が追加され指定した範囲で図面が作成されます。  
[モデル空間]をクリックすると、画面が切り替わるので、読み込みたい範囲を指定し直すこともできます。

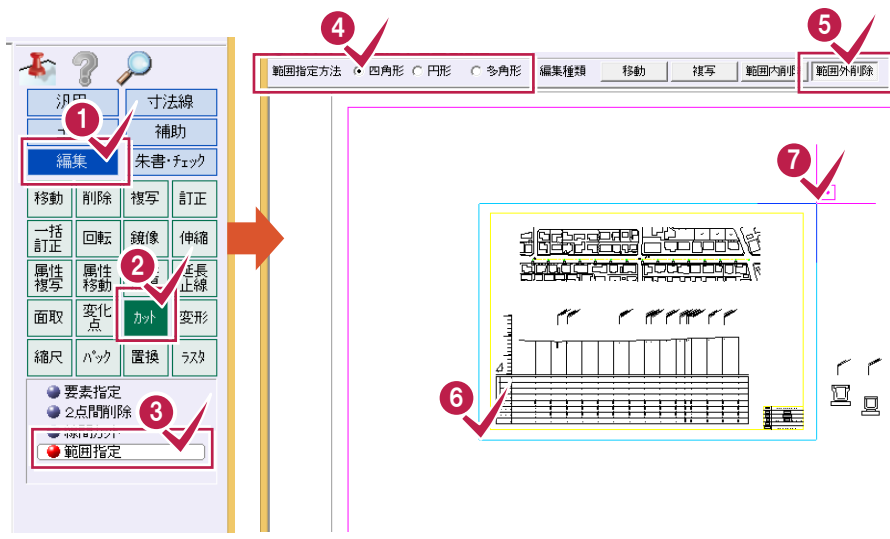


1 [読込範囲]をクリックします。

2 3  
読み込む範囲を指定します。

## A

取り込んでしまった後の場合は、[編集]－[カット]－[範囲指定]コマンドで[範囲外削除]できます。



1 [編集]をクリックします。

2 [カット]をクリックします。

3 [範囲指定]をクリックします。

4 [範囲指定方法]を選択します。

5 [範囲外削除]をクリックします。

6 7  
範囲を指定します。

# Q6

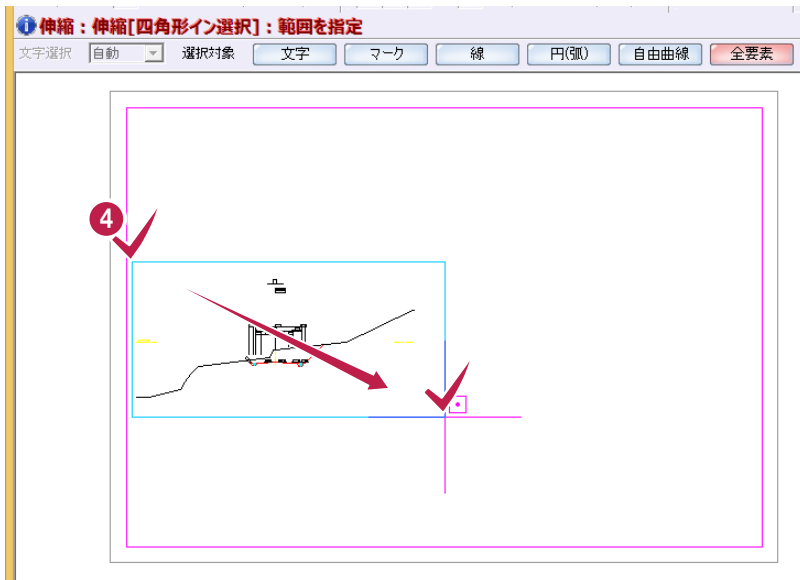
## 取り込んだ後に倍率を指定して、寸法を合わせたい。

### A

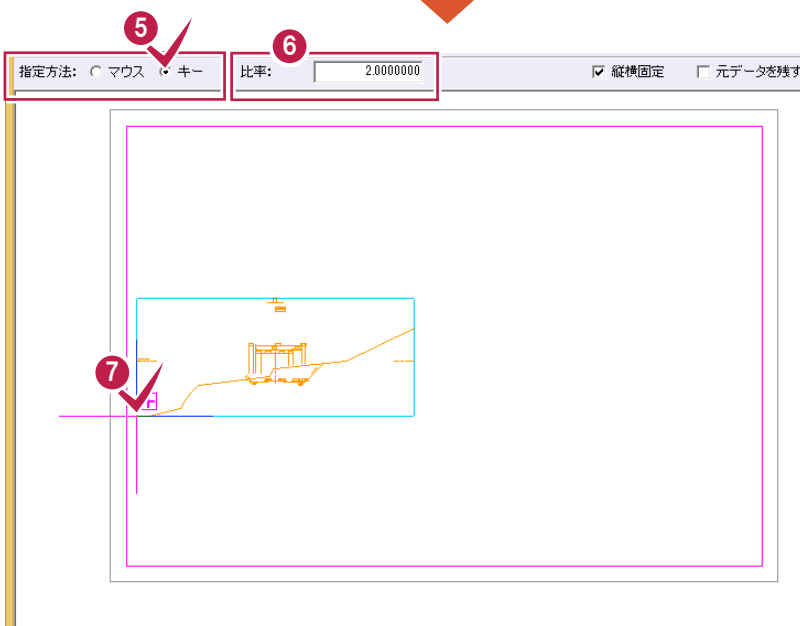
[編集]－[伸縮]－[伸縮]コマンドを使います。



- 1 [編集]をクリックします。
- 2 [伸縮]をクリックします。
- 3 [伸縮]をクリックします。



- 4 伸縮する範囲を指定します。



- 5 [指定方法]で[キー]を選択します。
- 6 伸縮比率を入力します。
- 7 伸縮の基準をクリックします。

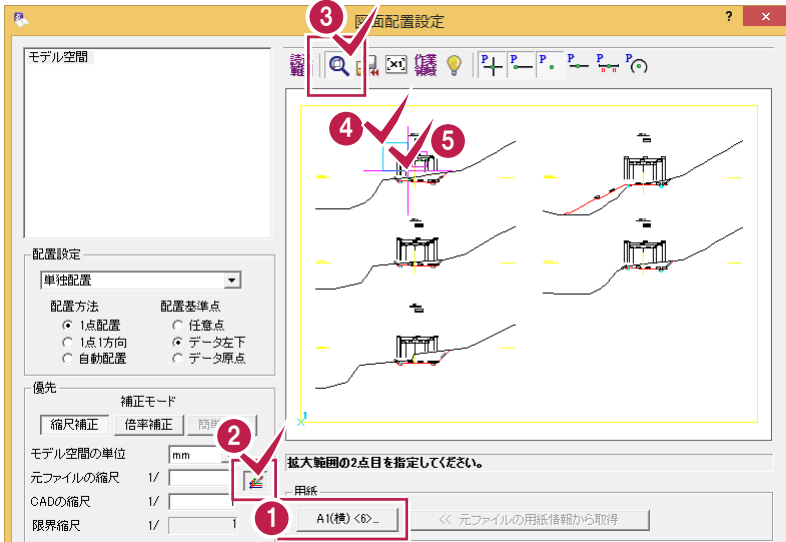


## Q7

図面を読み込んだら、小さくなってしまった・・・  
これって縮尺いくつなの？

A

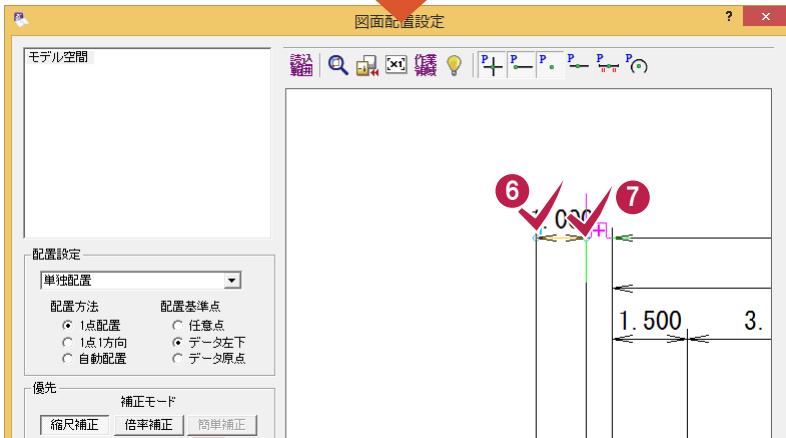
[ファイル]－[外部ファイルを開く]コマンドで、DXF/DWG/JWC/JWWの図面を取り込むときに表示される[図面配置設定]ダイアログの[縮尺計測]ボタンで縮尺を確認して設定できます。



- 1 用紙サイズを設定します。
- 2 [縮尺計測]をクリックします。
- 3 [CAD:表示:拡大]をクリックします。

4 5

図上の寸法線が見えるように拡大範囲を指定します。

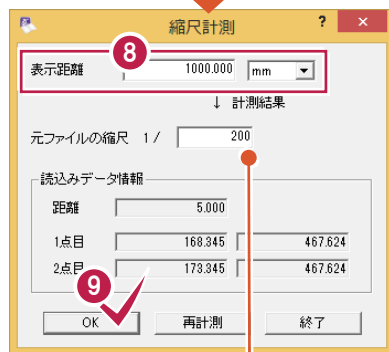


6 7

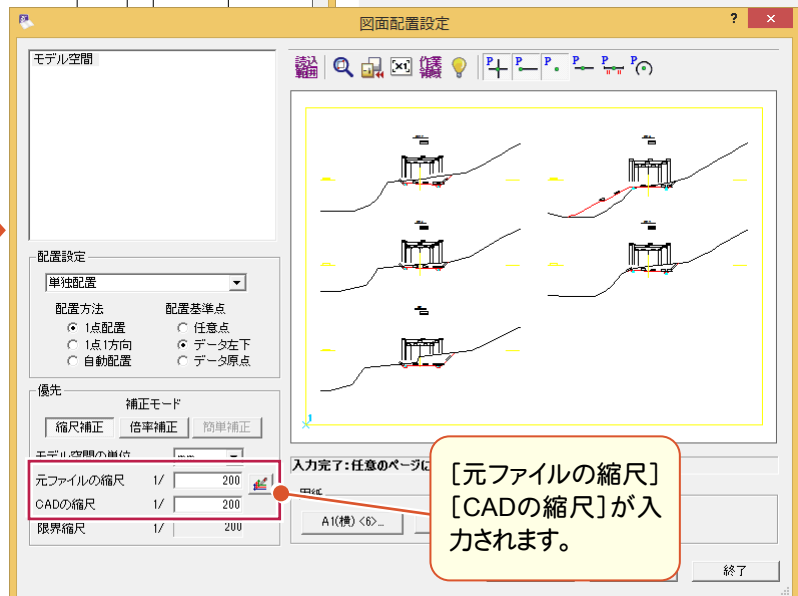
寸法線の2点をクリックします。

- 8 [表示距離]に「1000」と入力して、単位を「mm」に合わせます。

- 9 [OK]をクリックします。



[表示距離]を入力すると、  
[元ファイルの縮尺]が自動的に  
計算されて表示されます。



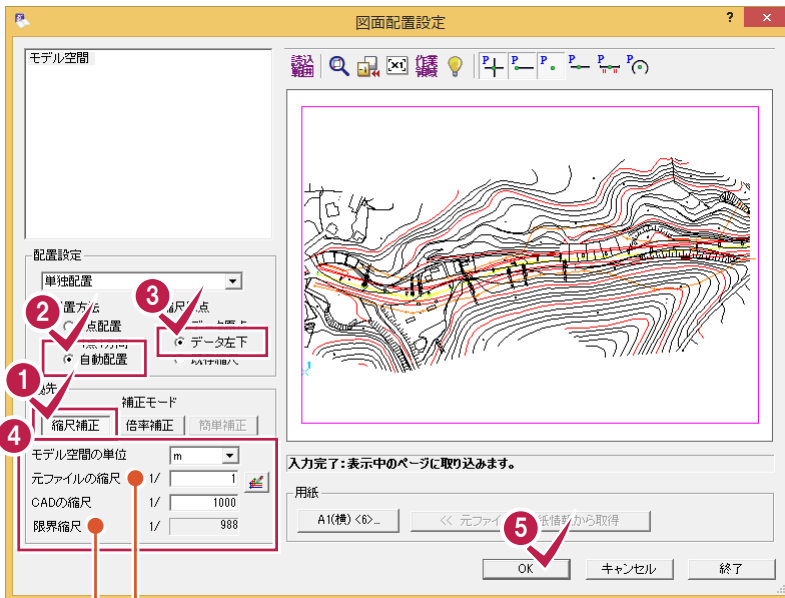
[元ファイルの縮尺]  
[CADの縮尺]が入  
力されます。

# Q8

## 座標系を持っている DXF・DWG データを取り込むには・・・

A

[ファイル]ー[外部ファイルを開く]コマンドの[図面配置設定]ダイアログの[縮尺補正]で[配置方法]を「自動配置」、[縮尺原点]を「データ左下」に設定して取り込みます。



- 1 [縮尺補正]をクリックします。
- 2 [縮尺補正][自動配置][データ左下]をクリックします。
- 3 [縮尺補正][自動配置][データ左下]をクリックします。
- 4 [モデル空間の単位][元ファイルの縮尺]を設定して、[CADの縮尺]を入力します。
- 5 [OK]をクリックします。

モデル空間の[元ファイルの縮尺]は、通常(1/1)です。レイアウト空間は縮尺を持っている場合もあります。

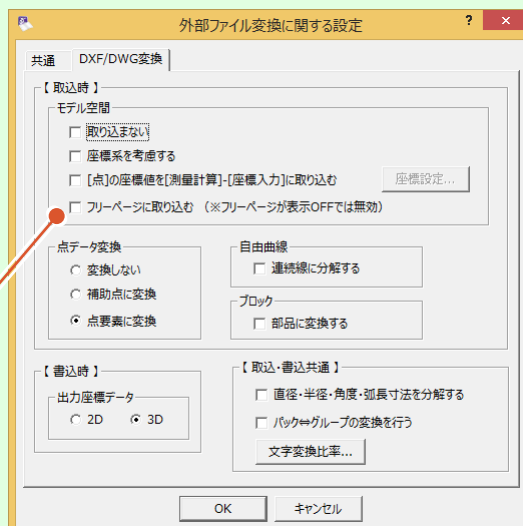
用紙サイズにより、[限界縮尺] (指定用紙に収めるための最大縮尺)が変わります。[CADの縮尺]には限界縮尺に近い(または大きい数字)値を入力します。



### メモ DXF/DWG ファイル変換に関する設定について

[ファイル]ー[外部ファイル設定]コマンドの[外部ファイル変換に関する設定]ダイアログの[DXF/DWG変換]タブで、DXF/DWGファイル変換に関して設定できます。詳しくはヘルプを参照してください。

[フリーページに取り込む(※フリーページが表示OFFでは無効)]のチェックをオンにすると、モデル空間をフリーページに取り込みます。

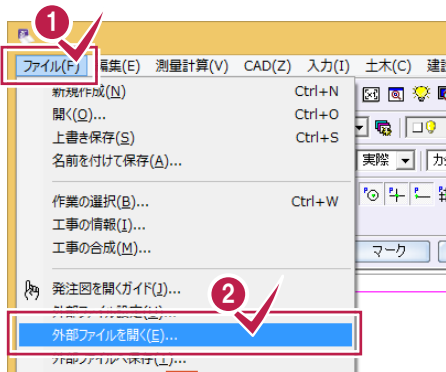


## Q9

## DXF データを連続して自動配置するには・・・

A

[ファイル]－[外部ファイルを開く]コマンドで、連続して配置するデータをすべて選択して自動配置します。ただし、データによっては小さくなって配置される場合もありますので、注意してください。



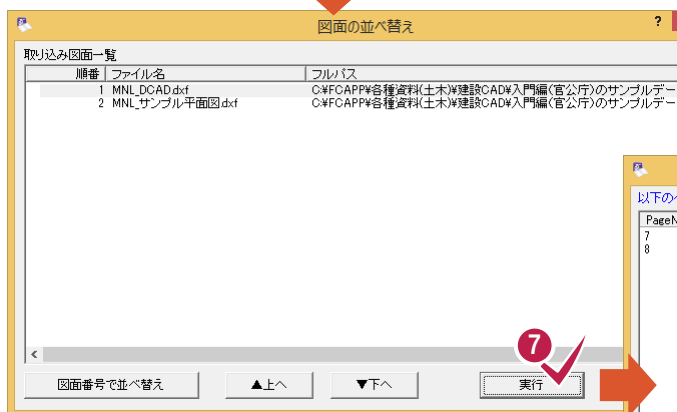
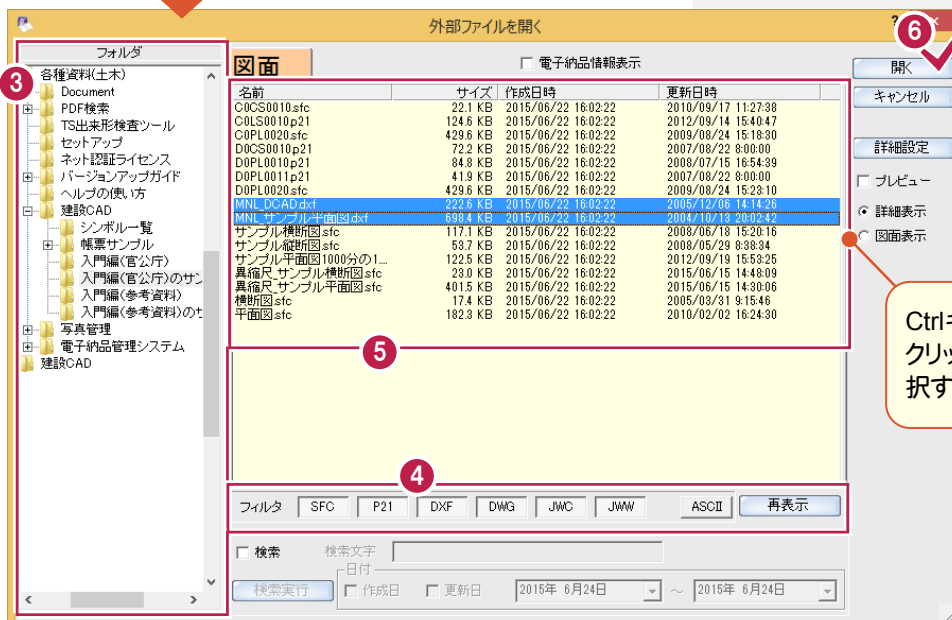
1 [ファイル]をクリックします。

2 [外部ファイルを開く]をクリックします。

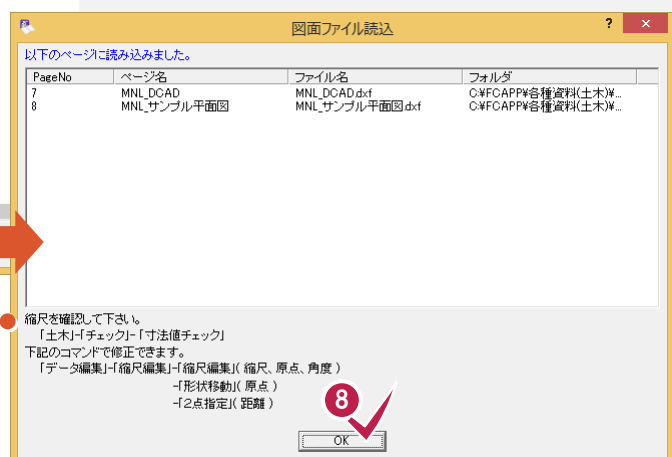
3 4 5

フォルダー、フィルター、ファイルを選択します。

6 [開く]をクリックします。



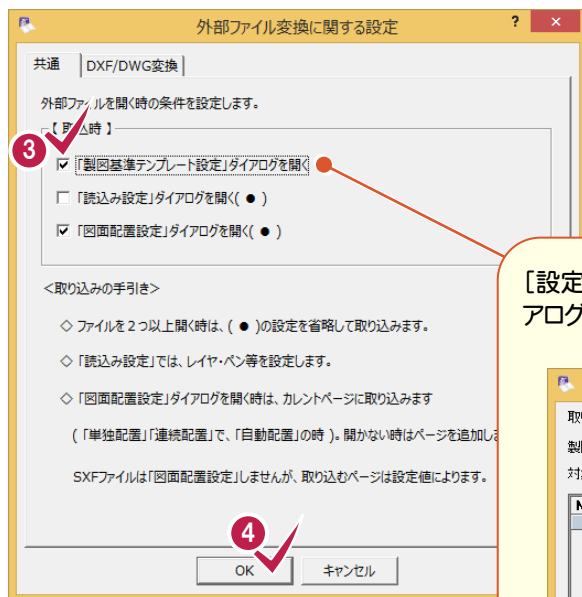
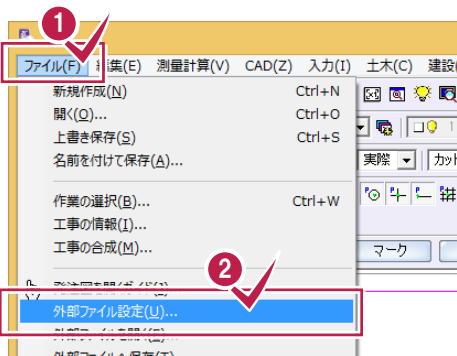
選択したDXFデータが連続して自動配置され、確認の[図面ファイル読込]ダイアログが表示されます。



# Q10

## 外部ファイル読み込み時に、 CAD製図基準テンプレートを設定する場合は・・・

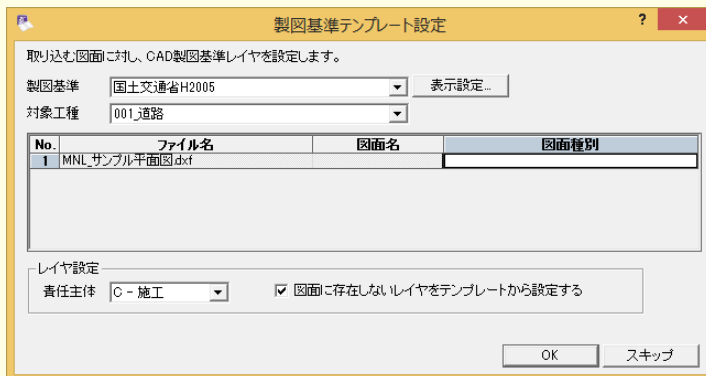
**A** [共通]タブの[設定を行う]のチェックをオンにします。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [外部ファイル設定]をクリックします。

- 3 [読み込み設定]の[設定を行う]のチェックをオンにします。
- 4 [OK]をクリックします。

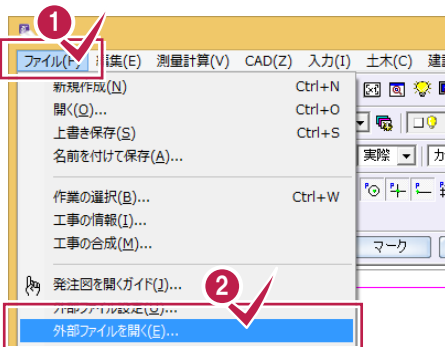
[設定を行う]のチェックをオンにすると、[製図基準テンプレート設定]ダイアログが表示されます。



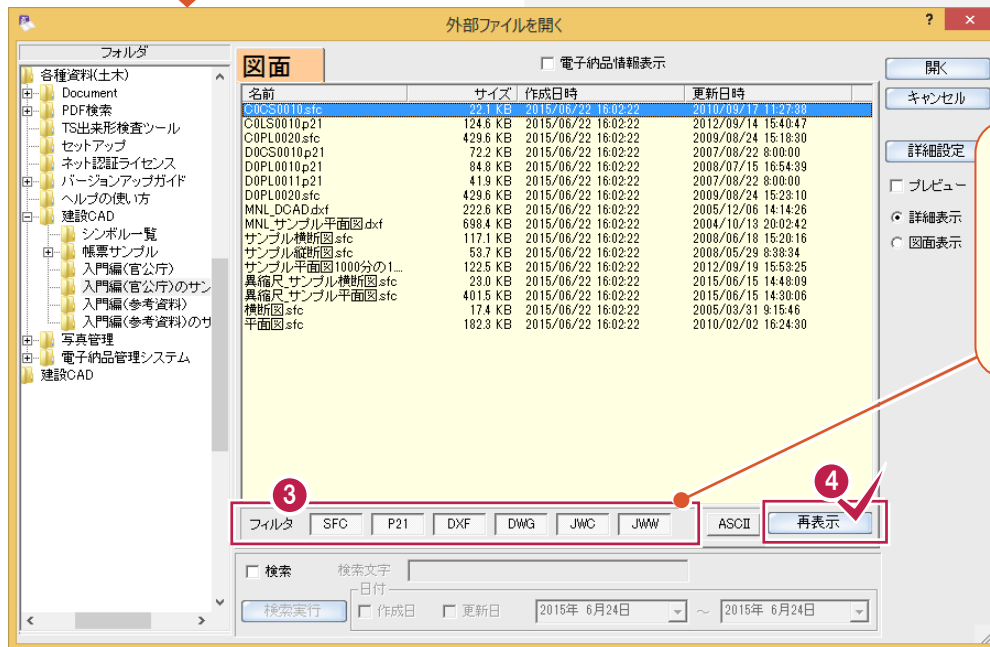
## Q11

## 取り込み対象ファイルを選択するには・・・

**A** [外部ファイルを開く]ダイアログの[フィルタ]で選択します。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [外部ファイルを開く]をクリックします。
- 3 [フィルタ]で読み込み対象ファイルのボタンをオン(凹んだ状態)にします。
- 4 [再表示]をクリックします。



## メモ

## ファイル形式について

[ファイル]-[開く]で取り込めるファイル形式は、

- ・SXF (sfc、p21)
- ・DXF/DWG
- ・JWC/JWW です。

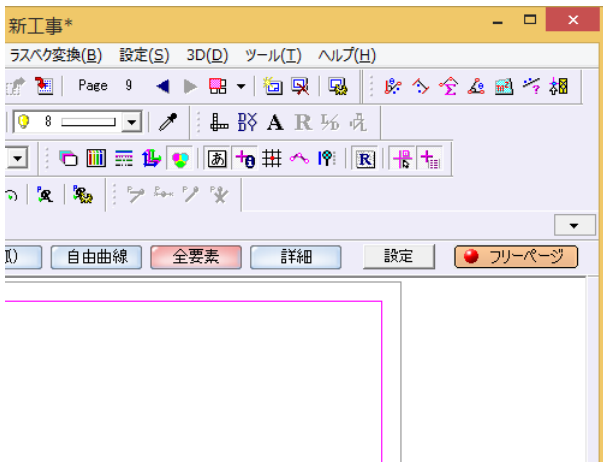
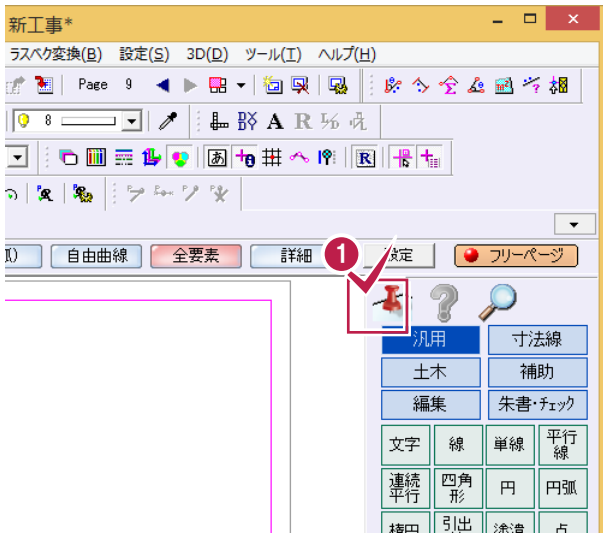
[ファイル]メニューより以下のデータも取り込めます。

- ・[拡張 DM ファイルを開く] DM 形式(数値地形図データ)
- ・[PDF 取込アシスト] PDF ファイル(ラスタ・ベクタ変換して取り込む)
- ・[福井コンピュータ連携]
  - －[BTV・BTXA データを開く] BLUETREND V・BLUETREND XA(測量ソフト)
  - －[BX 互換ファイルを開く] BX 互換ファイル(座標・図面などのデータをLZH形式で圧縮したファイル)
  - －[XYCLONE データ(.MCF)を開く] MCF 形式(XYCLONE のデータ)
  - －[TRENDff データ(.MFF)を開く] MFF 形式(TRENDff のデータ)

# Q12

## コマンドバーを非表示にしたい。

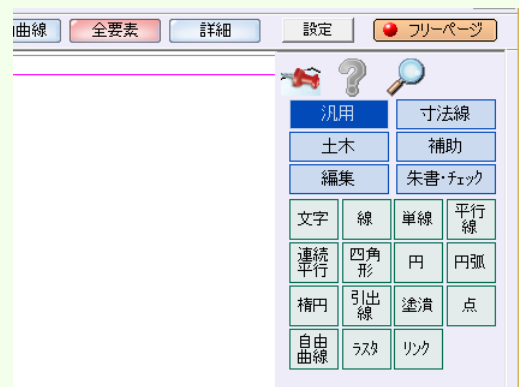
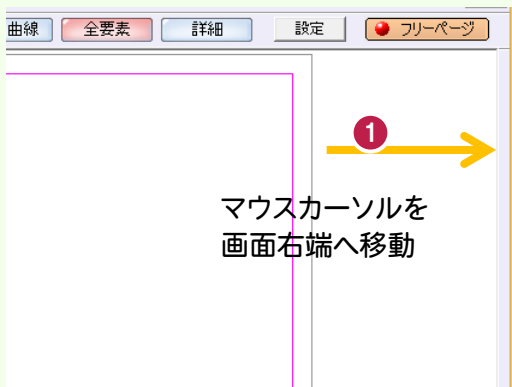
**A** コマンドバーの上部にあるピン(赤色)をクリックします。



**1** コマンドバーの上部にあるピン(赤色)をクリックして、コマンドバーを非表示にします。



コマンドバーを表示する場合は、マウスカーソルを画面右端へ移動すると表示することができます。

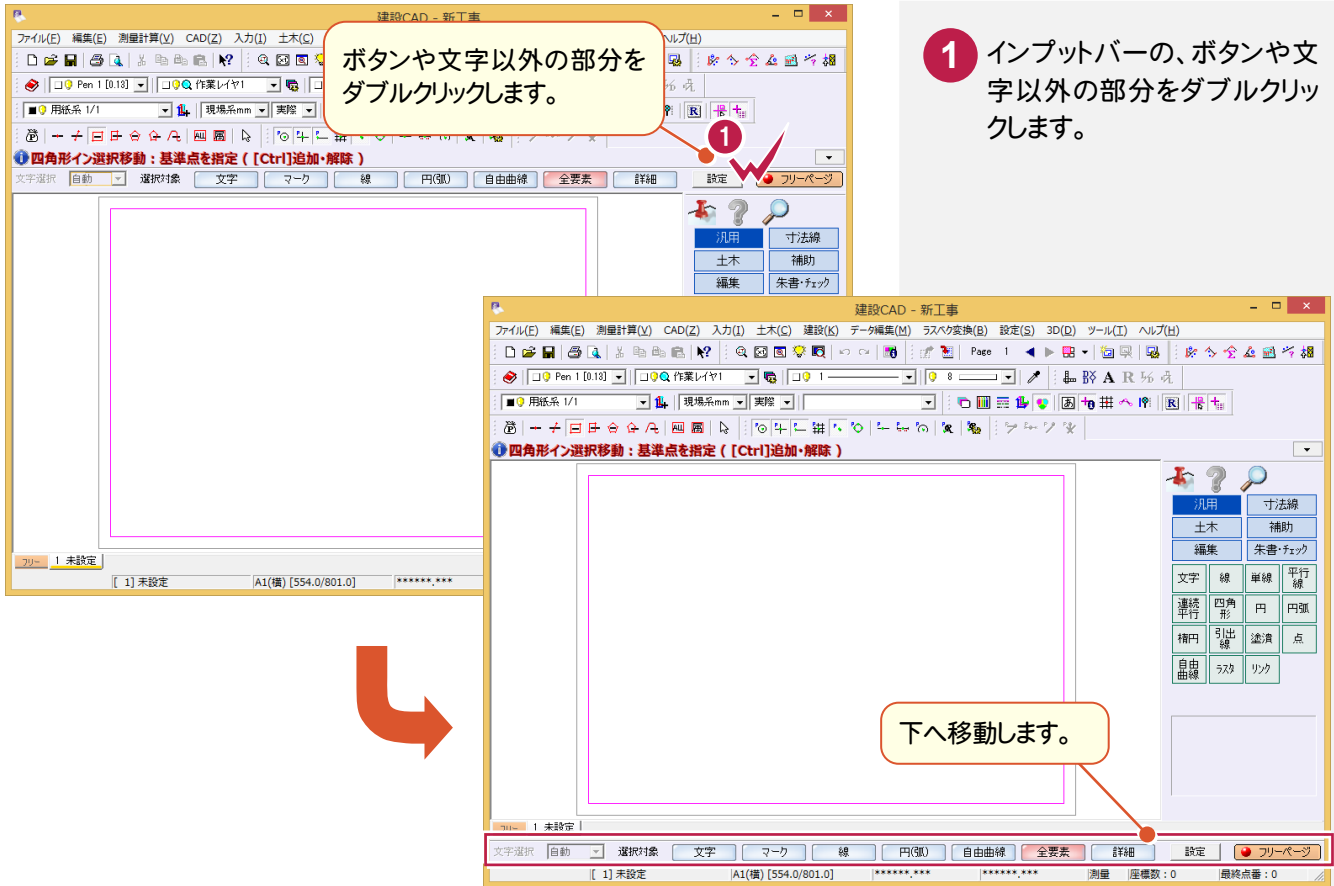


## Q13

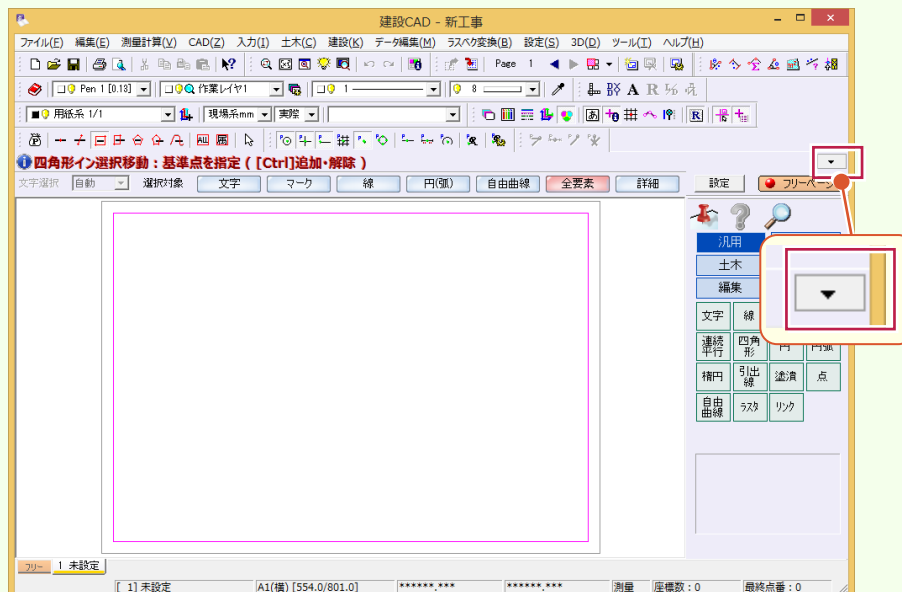
## インプットバーの位置を変更したい。

## A

インプットバーのオレンジ色の部分をダブルクリックします。



メッセージバー（操作ガイド）も移動できます。右端の[▼]をクリックして移動します。

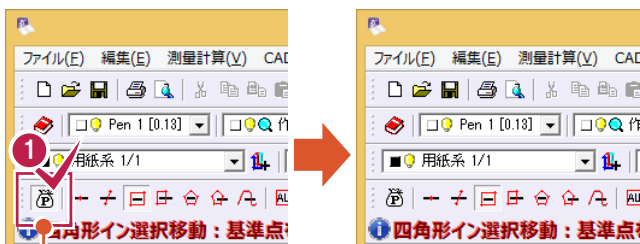


# Q14

## データを選択するとグループ選択されてしまう。

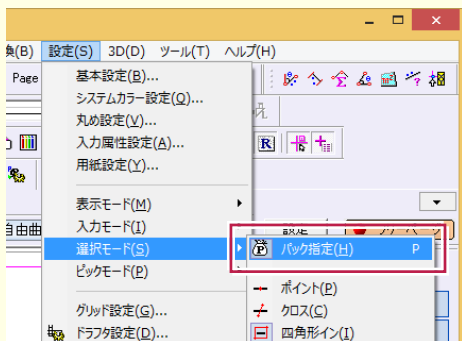
A

[設定:選択モード:パック指定]のアイコンをオフにしてください。



1 [設定:選択モード:パック指定]のアイコンをクリックしてオフにします。

または、[設定]-[選択モード]-[パック指定]をクリックします。



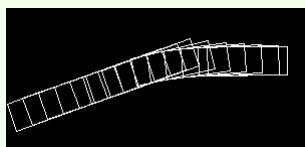
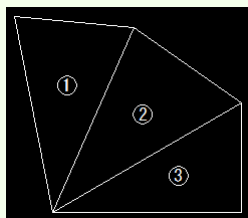
### パックとは

複数の文字や線などが集まってひとつの図を表しているデータをパックデータといいます。

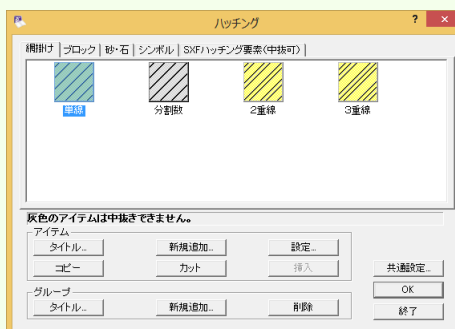
建設CADでは

- ・シンボル配置した図形
- ・建設CADで作成した表
- ・ヘロン三斜で作成した図面
- ・車両軌跡
- ・ハッチング
- ・[パック]-[作成]でパック化された図形

などがパックデータになります。



名称	規格	算式	数量	単位
コンクリート	15-9-40	$((0.400+1.400) \times 2.000 \times 2.500) \times 10.000$	22.5	m <sup>3</sup>
型枠	無形構造物	$\sqrt{(1.000+0.200)^2} \times 2.500 + \sqrt{(1.400-0.400-2.500 \times 0.200)^2 + 2.500^2} \times 2.500 \times 10.000$	50.99	m <sup>2</sup>
基礎材	R0-40	$(0.400+0.100 \times 2.000) \times 10.000$	16	m <sup>2</sup>

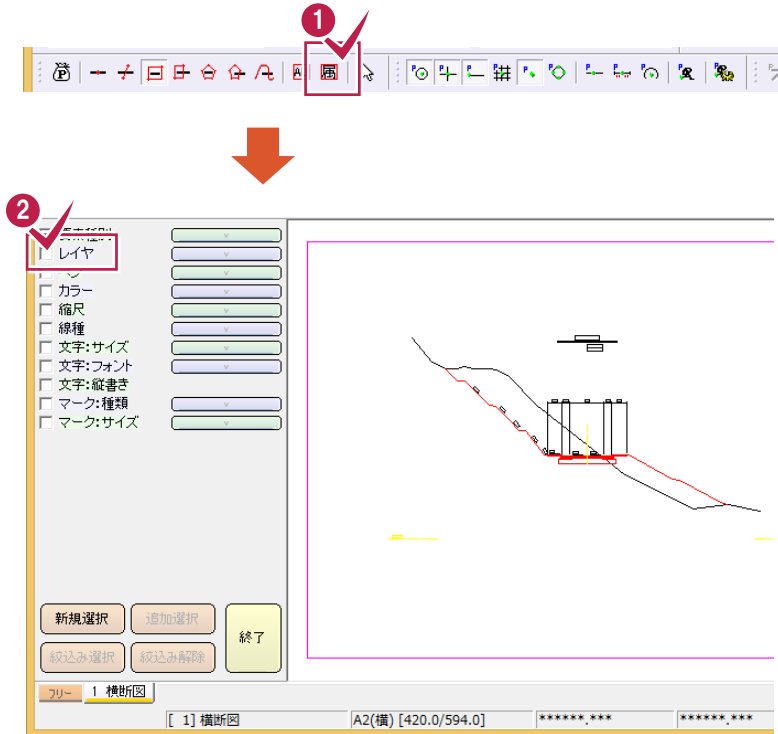




## Q15

属性を指定してデータを選択したい。  
(AutoCADのプロパティ選択)

**A** [設定:選択モード:属性選択]のアイコンで属性を絞り込んだ選択ができます。



**1** [設定:選択モード:属性選択]のアイコンをクリックします。

**2** 指定する属性(入力例では[レイヤ])のチェックをオンにします。

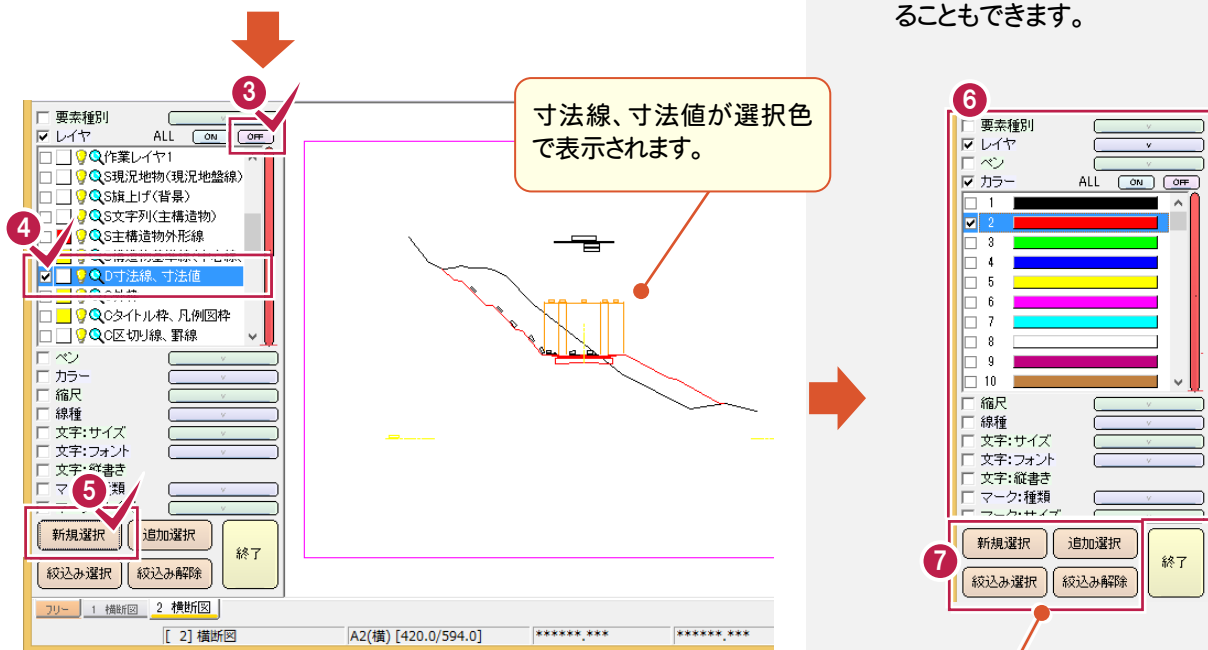
**3** [OFF]をクリックします。

**4** 選択するレイヤのチェックをオンにします。

**5** [新規選択]をクリックします。

**6 7**

続けて別の条件を設定して、選択することもできます。



**[新規選択]** 現在選択されている要素【を解除して】指定した条件の要素を選択します。

**[追加選択]** 現在選択されている要素【にプラスして】指定した条件の要素を選択します。

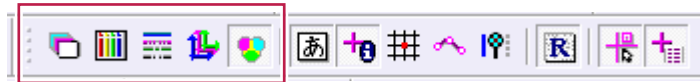
**[絞り込み選択]** 現在選択されている要素【の中で】指定した条件の要素を選択します。

**[絞り込み解除]** 現在選択されている要素を解除します。

# Q16

## 画面表示と印刷の色を設定するには？

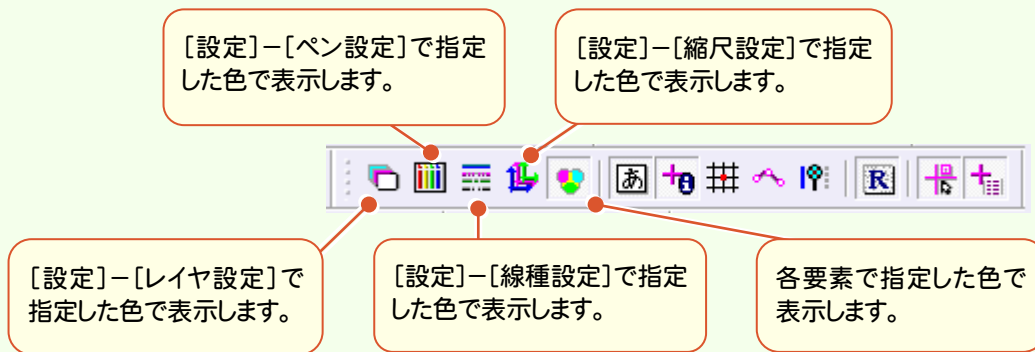
**A** [設定：表示モード：表示色]のアイコンで画面の表示色を変更できます。



メモ

### 表示色について

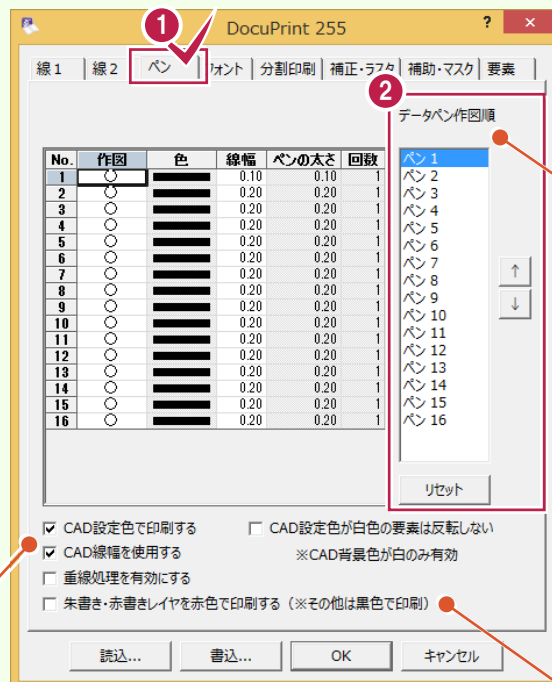
建設CADでは、レイヤ、ペン、縮尺、カラー、線種のそれぞれの情報ごとに表示色を設定できます。



メモ

### 印刷の色はどうなるの？

[ファイル]－[印刷]コマンドの[出力設定]の[ペン]で設定できます。



[CAD設定色で印刷する][CAD線幅を使用する]のチェックがオンのときは、画面の表示色、線幅で印刷します。オフのときは、CADの設定は無効になります。[出力設定]－[ペン]で設定したペン No ごとの色、線幅で印刷します。

[朱書き・赤書きレイヤを赤色で印刷する(※その他は黒色で印刷)]のチェックがオンのときは朱書き・赤書きレイヤのみを赤色、その他は黒色で印刷します。

[設定]－[基本設定]の[描画順]で、[データ順で描画]のチェックがオンのときは、[データペン作図順]の設定変更はできません。

## Q17

## キーボードや画面ボタンをカスタマイズしたい。

**A** [設定]－[ポップアップカスタマイズ][キーカスタマイズ][コマンドバーカスタマイズ]コマンドを使用します。

## ポップアップメニューをカスタマイズする

1 [設定]をクリックします。

2 [ポップアップカスタマイズ]をクリックします。

3 [ボタン形式]がオンであることを確認します。

4 [大分類][小分類]を設定します。

5 よく使うコマンドを選択し、希望のボタン場所までドラッグします。

[書き込み]で現在の設定を保存できます。

[データ転送]で現在の設定をディスクなどへ抜き出すことができます。

6×6 個のボタン  
10 ページまで設定できます。

- 1 [設定]をクリックします。
- 2 [ポップアップカスタマイズ]をクリックします。
- 3 [ボタン形式]がオンであることを確認します。
- 4 [大分類][小分類]を設定します。
- 5 よく使うコマンドを選択し、希望のボタン場所までドラッグします。

## キー割り付けをカスタマイズする

1 [設定]をクリックします。

2 [キーカスタマイズ]をクリックします。

3 よく使うコマンドの[大分類][小分類]を設定します。

4 割り付けるキーのグループを選択します。

5 よく使うコマンドを割り付けるキーまでドラッグします。

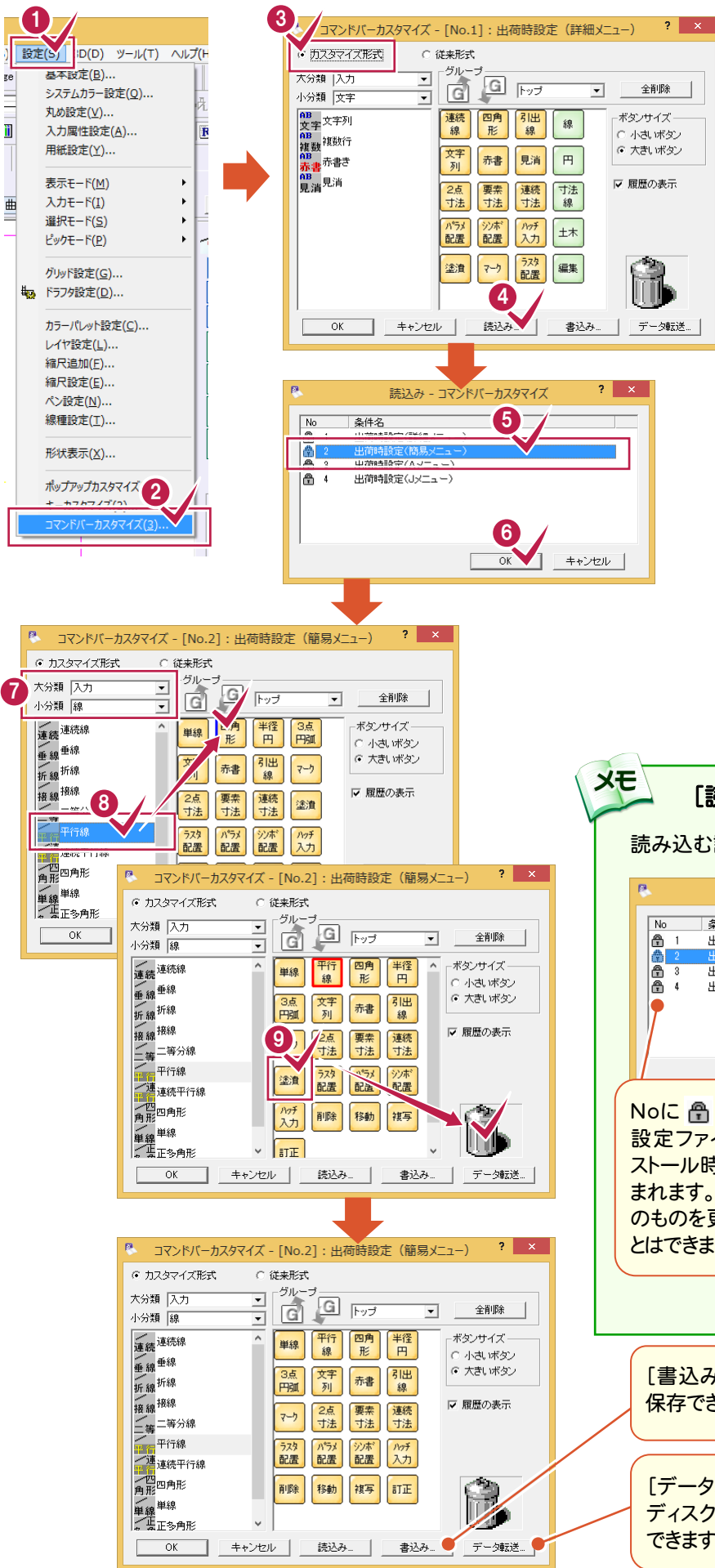
[割当て]でキーに割り付けることもできます。

[書き込み]で現在の設定を保存できます。

[データ転送]で現在の設定をディスクなどへ抜き出すことができます。

- 1 [設定]をクリックします。
- 2 [キーカスタマイズ]をクリックします。
- 3 よく使うコマンドの[大分類][小分類]を設定します。
- 4 割り付けるキーのグループを選択します。
- 5 よく使うコマンドを割り付けるキーまでドラッグします。

# コマンドバーをカスタマイズする



- 1 [設定]をクリックします。
- 2 [コマンドバーカスタマイズ]をクリックします。
- 3 [カスタマイズ形式]をクリックします。
- 4 [読み込み]をクリックします。
- 5 利用する出荷時設定メニューをクリックします。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 [大分類][小分類]を設定します。
- 8 よく使うコマンドを選択し、希望のボタン場所までドラッグします。
- 9 あまり使わないコマンドを選択し、ゴミ箱の場所までドラッグします。

**メモ** [読み込み]について

読み込む設定ファイルには2種類あります。

No	条件名
1	出荷時設定(詳細メニュー)
2	出荷時設定(簡易メニュー)
3	出荷時設定(Aメニュー)
4	出荷時設定(Jメニュー)

Noに🔒が付いた設定ファイルはインストール時に組み込まれます。ファイルそのものを更新することはできません。

Noに🔒が付いていないファイルは[書き込み]から書き込んだものです。ファイルそのものを更新することが可能です。

[書き込み]で現在の設定を保存できます。

[データ転送]で現在の設定をディスクなどへ抜き出すことができます。

## Q18

文字や線を入力しようと配置したい場所をクリックしてもはじかれてしまう・・・

A

[設定:ピックモード:フリー]のアイコンをオンにしてください。フリーとは何も無いところに配置するための選択モードです。



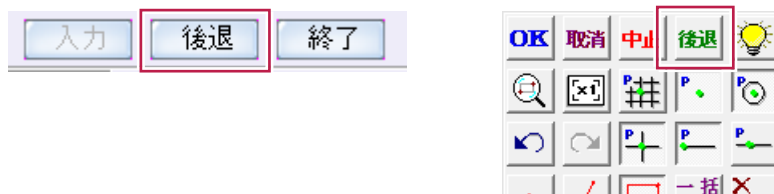
## Q19

線を引いている途中で間違った位置をクリックしてしまいました。最初からやり直しですか？

A

入力途中に間違った位置を選択した場合、画面上方の[後退]をクリックしてください。または、画面上で右クリックし、ひとつ前に戻る[後退]を選択します。最初の位置が間違っていた場合には[取消]をすると、また最初からやり直すことができます。

[中止]を選択すると、線の入力コマンド自体が中止されます。



[取消]や[後退]と[元に戻す][やり直し] (   ) の違いについて

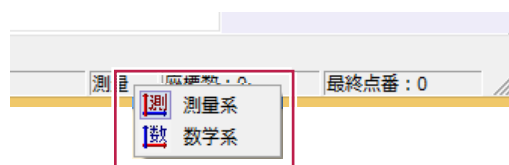
[取消]や[後退]は、今現在作業している操作途中のデータに対して有効な制御です。未確定なデータのため、画面上では[水色]などの色で表示されています。これに対して作成し終えた線は確定済みのデータのため、白や赤といった自分で指定した色で表示されます。このデータであれば[元に戻す]や[やり直し]の機能が有効になります。

## Q20

DXDY で XY が逆になってしまうのですが・・・

A

画面右下の「測量」もしくは「数学」をダブルクリックして、測量系と数学系を切り替えます。測量図面は X 軸が縦になります。

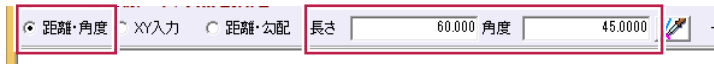


# Q21

## 45度の線を入力したいのですが・・・

**A**

[汎用]－[線]－[連続線]を選択した後、インプットバーで[距離・角度]を選択し、[長さ][角度]欄に数値を入力して始点をクリックします。  
長さの入力については縮尺や入力単位に気をつけてください。



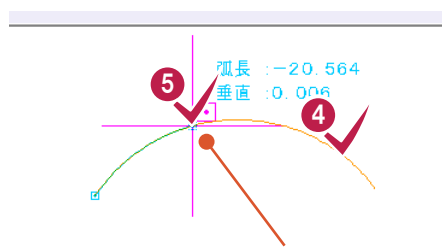
今何をおこなってよいかわからなくなったときは、画面上のメッセージを注意して見てみましょう！

# Q22

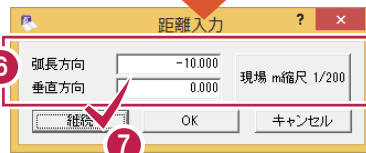
## 円弧(線)上に10mピッチで点を落としたい。

**A**

[補助]－[オフセット]－[要素指定]を使用してください。



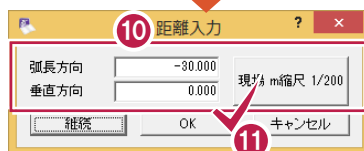
左側から距離を入力する場合は、左側に近い方をクリックします。



上記のような場合④→⑤へクリックした方向はCAD上でマイナス方向であることを示します。



左側から10mのところ補助点が入力されます。



クロソイド曲線にも、同様に入力できます。

左側から10mピッチで補助点が入力されます。

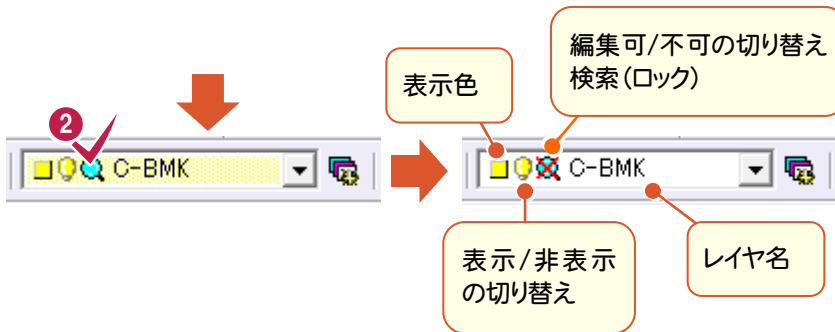
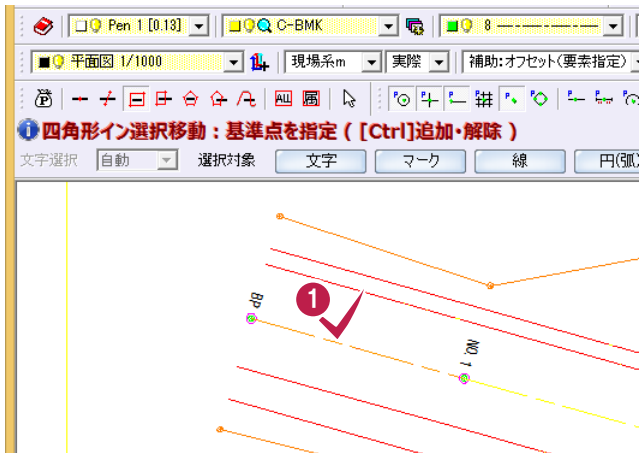
- 1 [補助]をクリックします。
- 2 [オフセット]をクリックします。
- 3 [要素指定]をクリックします。
- 4 5 円弧、点を作成する方向をクリックします。
- 6 [延長方向]に「-10」、[垂直方向]に[0]と入力します。
- 7 [継続]をクリックします。
- 8 [延長方向]に「-20」と入力します。
- 9 [継続]をクリックします。
- 10 [延長方向]に「-30」と入力します。
- 11 [OK]をクリックします。

## Q23

間違えて編集しないようにデータを保護したい。

A

ツールバーの[レイヤ]で消したくないレイヤの[検索]をオフにしてください。



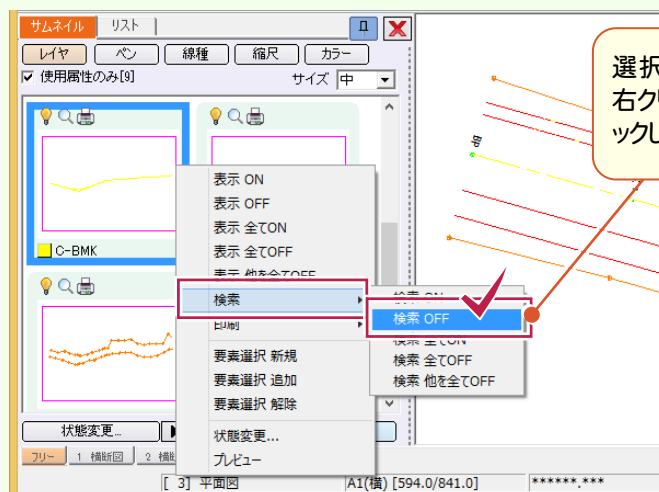
- 1 編集したくないデータをクリックします。
- 2 レイヤリストの検索(🔍)をクリックします。



[設定]—[レイヤ設定]や[形状表示]でも設定できます。



[検索]セルの[○]をダブルクリックして外します。  
[印刷]セルを外すと、画面に表示されていても印刷されません。

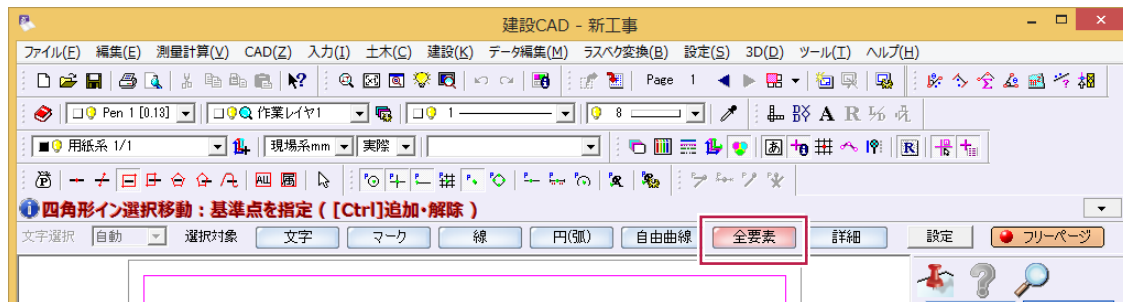


選択レイヤの形状を確認して右クリックし、[検索OFF]をクリックします。

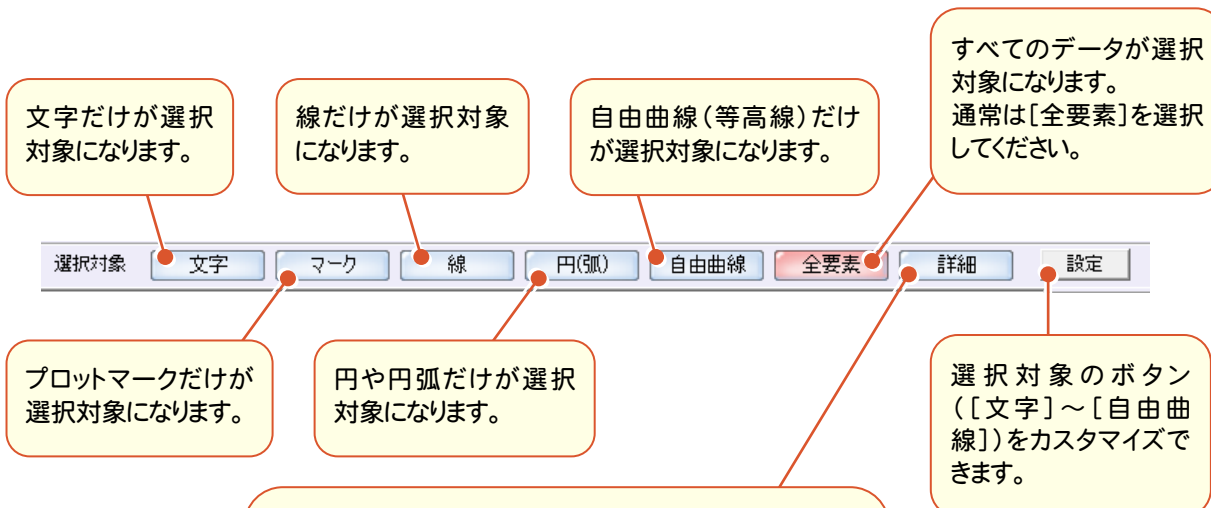
# Q24

## 文字以外のデータが編集できません。

**A** インputバー[選択対象]を[全要素]にしてください。



[選択対象]を切り替えることにより、対象要素だけを絞って選択することができます。たとえば、図面内の円データだけ(線だけ、文字だけ...)を編集したい場合や複数要素が重なって選択しにくい場合に切り替えると便利です。通常は[全要素]を選択してください。



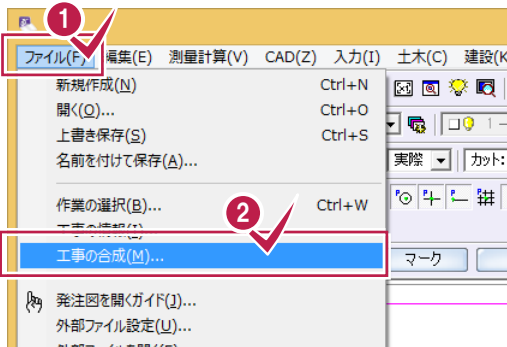
[選択対象詳細設定]ダイアログで選択対象にする要素を指定できます。  
 「ハッチングだけを選択したくない」  
 「寸法線は編集対象にしたいくない」  
 など詳細な編集対象設定ができます。



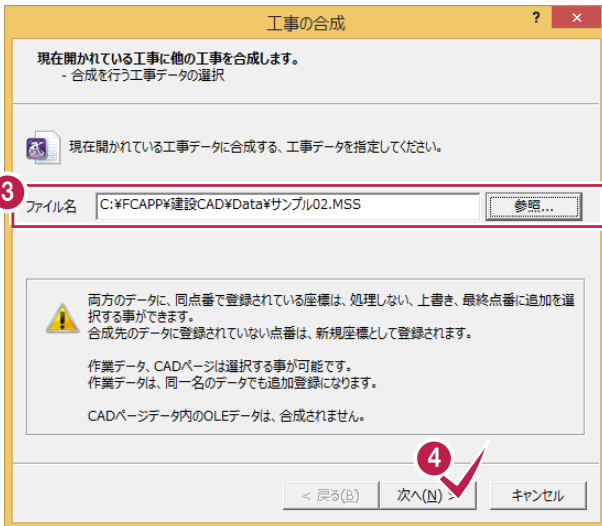
## Q25

## 別の建設CAD(.mss)ファイルの図面を取り込みたい。

**A** [ファイル]ー[工事の合成]コマンドを使用してください。

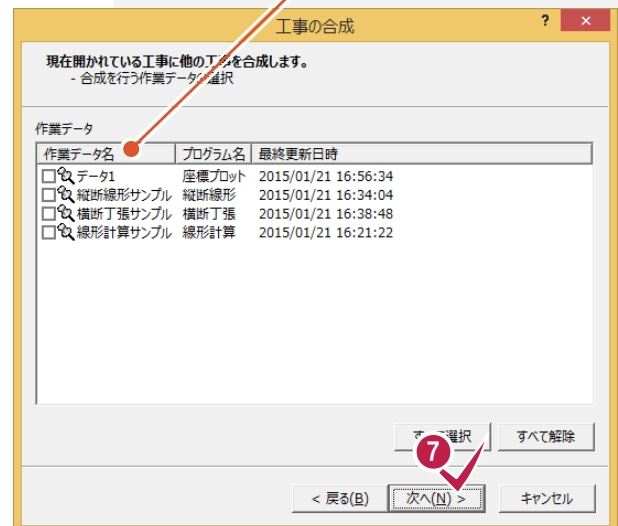
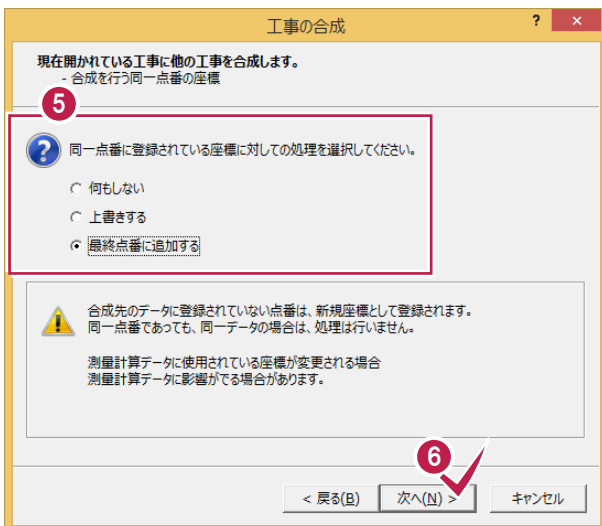


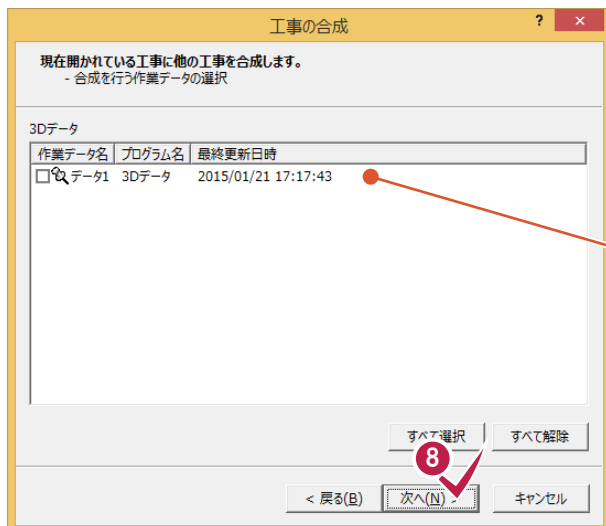
- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [工事の合成]をクリックします。



- 3 合成する工事データを指定します。
- 4 [次へ]をクリックします。
- 5 [最終点番に追加する]が選択されていることを確認します。
- 6 [次へ]をクリックします。
- 7 [次へ]をクリックします。

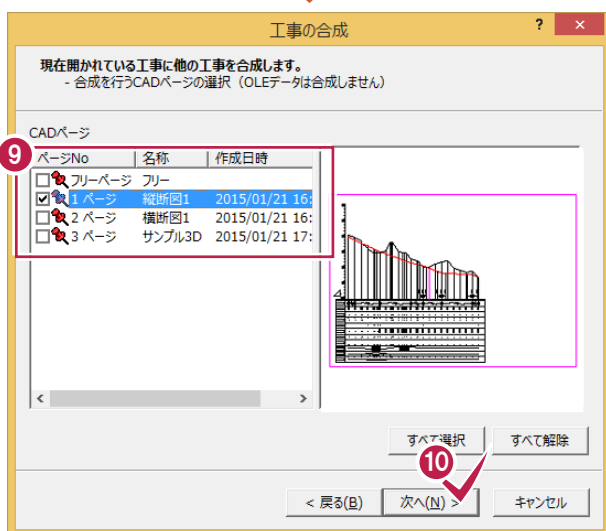
土木計算や縦横断データなどの入力データも取り込むときは、チェックをオンにしてデータを選択してください。





3Dデータも取り込むときは、チェックをオンにしてデータを選択してください。

**8** [次へ]をクリックします。



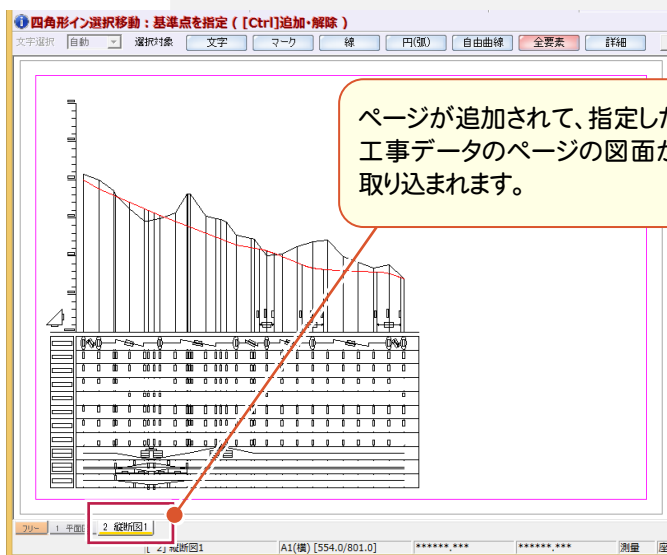
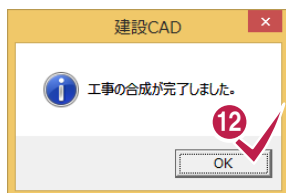
**9** 取り込むページのチェックをオンにします。

**10** [次へ]をクリックします。



**11** [実行]をクリックします。

**12** [OK]をクリックします。

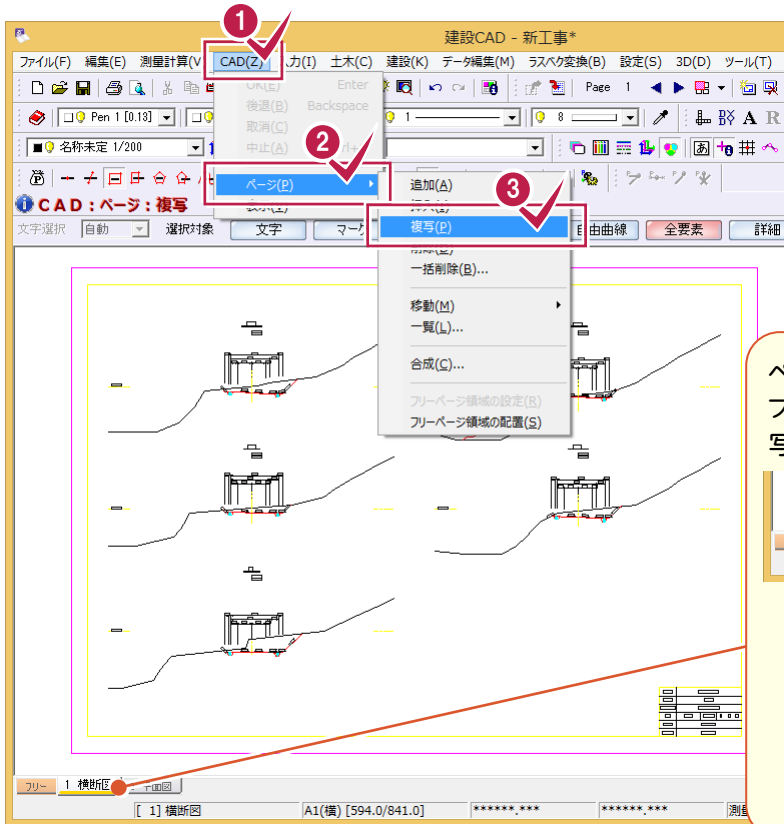


## Q26

## 新しいページに別ページの図面を複写したい。

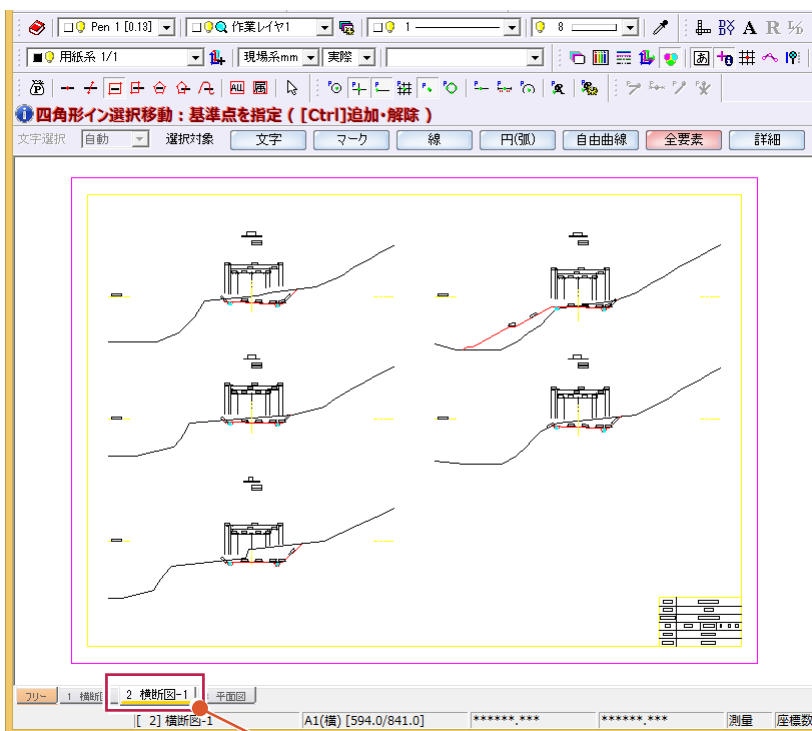
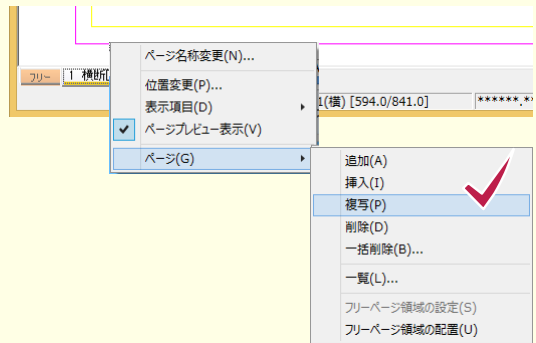
A

[CAD]－[ページ]－[複写]コマンドでページを複写します。



- ① [CAD]をクリックします。
- ② [ページ]をクリックします。
- ③ [複写]をクリックします。

ページタブを右クリックして表示されるポップアップメニューの[ページ]－[複写]でもページを複写できます。

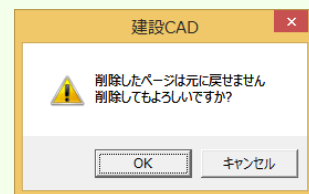
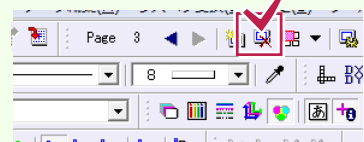


元のページの隣にページが複写されます。

メモ

## ページの削除

[CAD:ページ:削除]のアイコンをクリックすると、確認のメッセージが表示され[OK]をクリックすると、現在表示されているページが削除されます。

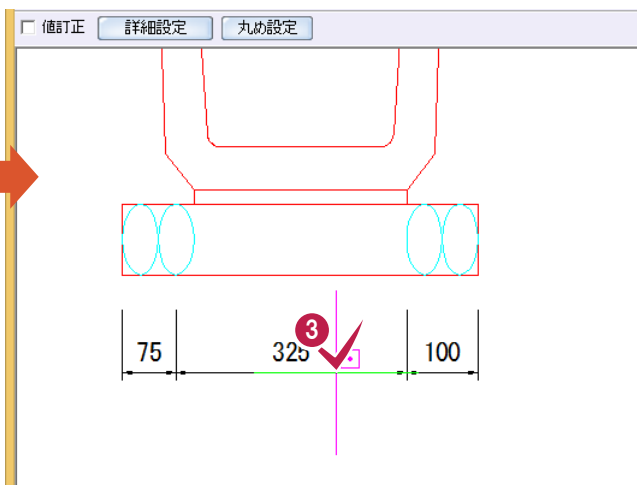


# Q27

## 入力後に寸法線の計測箇所を変更したい。

**A**

[寸法線]－[寸法値再計算]を使用してください。

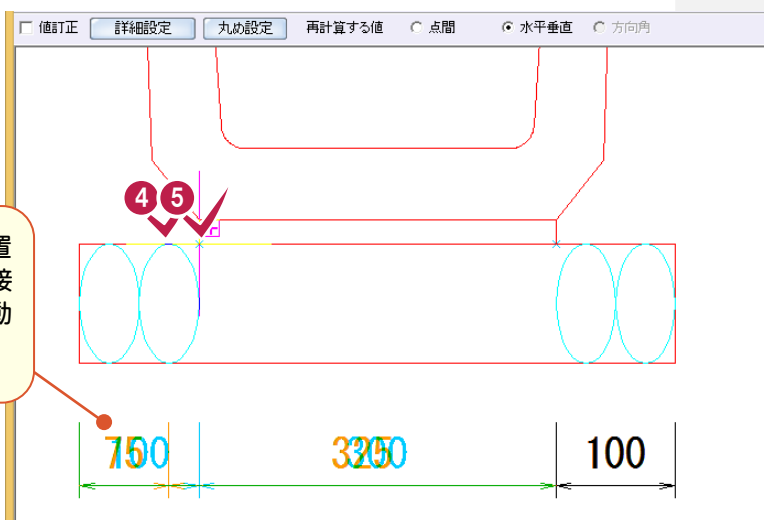


- 1 [寸法線]をクリックします。
- 2 [寸法値再計算]をクリックします。
- 3 訂正したい寸法線をクリックします。

4 5

訂正したい計測箇所、移動先をクリックします。

寸法線の足の位置が同じ高さの、隣接する寸法値は自動で変更されます。



**メモ**

再計算は寸法線要素で入力されている寸法線が対象です。

